

花輪高校1年生食物部有志 青春はみそ味！ラーメン商品化
濃厚 地元産寒こうじ使用 12日、道の駅かづので販売



ラーメンをPRする食物部青春チームの生徒

鹿角市の花輪高校の生徒が考案した「花高青春ラーメン」が12日、道の駅かづので販売される。みそ味で、生麺とスープが入った100セット限定。食物部の有志ら1年生9人でつくる「青春チーム」が、昨秋のイベントで販売したラーメンのスープを改良し、商品化した。販売は午前10時から。

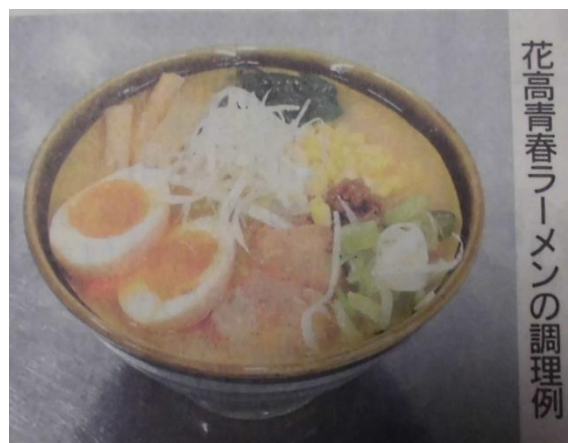
花高青春ラーメンは、中太生麺、濃厚味噌スープ、鶏ガラスープ、寒こうじ各2食分入りで1セット500円。パッケージのイラストは阿部蘭さん、ラーメンの紹介文はリーダーの児玉瑠斗さんが担当した。

チームは昨年10月下旬、十和田市民センターの文化祭で八幡平ポークのチャーシューや比内地鶏の煮卵、末広ファームのネギといった地元食材をトッピングした「塩麴みそラーメン」など2種類を販売。各200食が午前中に完売する人気ぶりだった。

12月になってPTA関係者から「商品化して地域をさらに盛り上げよう」と提案され、1月からスープの試作を開始。昨秋に使った塩こうじの代わりに地元産の寒こうじを使い、まるやかで濃厚なみそに仕上げた。

児玉さんは「試行錯誤を重ね、納得できる味に仕上がった。『青春』をテーマに考案した味を多くの市民に感じてほしい」と語る。

花輪高の今川浩子教頭によると、食物部は活動の成果を外部に発信する機会が少なく、生徒たちは商品化が決まってから意欲的に活動している。2024年4月に十和田、小坂との3校統合を控えており、「統合に向けて校内が活性化するとうれしい」と話した。(高橋秀明) (令和5年2月10日(金)秋田魁新聞より一部抜粋)



花高青春ラーメンの調理例